

## 1 学校の状況と地域の実態

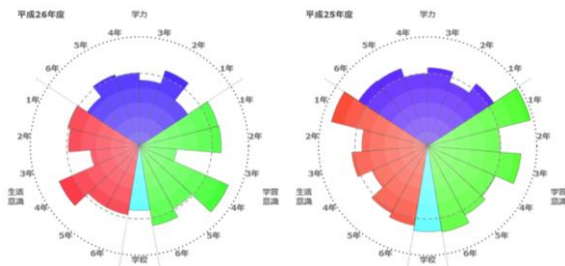
- (1) 全般的には、落ち着いた態度で学習に取り組む児童が多く、また指示が比較的通り、全体指導では話の聞き方も上手である。自分の考えをもち相手に分かりやすく伝える力については、どの学年も課題がある。主体的に学習に取り組めるよう、授業改善が必要である。
- (2) 生活科、総合的な学習の時間で、学校・家庭・地域との連携を意識してきたことで、体験的・探究的な学習ができた。今後も地域とのつながりを大切にし、継続していきたい。
- (3) 子どもたちの一日の家庭での勉強時間、一日の読書量については、個や学年によって差が見られる。昨年同様、保護者への協力を呼びかけていくと共に、読書については全校で統一した取り組みを行っていく必要がある。
- (4) 特別な支援が必要な子どもに対しての指導体制が構築されつつあるが、教員数や時間数に限りがあり、十分な対応ができていない状況も見られる。担任の支援を要する児童への理解、授業における指導の研究・研修は継続する必要がある。

## 2 今後3年間の方向（中期学校経営方針）

### 学力向上に関する指導の目標・方針（平成27年度末の姿）

- 豊かな学び合いができるように、思考力・判断力・表現力の育成が図られるとともに、1時間1時間の学習のねらいを明確にし、確かな学力として定着できるようにしています。
- 特別な教育的支援が必要な子どもについて、個別の教育支援計画や個別の指導計画を立て、全ての教職員がかかわりながら、それぞれの子どものあった指導が行われています。
- 校内研修・研究を意図的・計画的に行い、教師としての力量が向上しています。

## 3 横浜市学力学習状況調査等からの平成27年度の実態把握



### (1) 学力の概要と要因の分析

教科の学力は、現3、5、6年生は市平均を上回っており、学習内容がほぼ身につけているといえる。現2、4年生は、市平均を下回っており、学習への意欲を高めていく必要がある。

生活意識や学習意識も、学年によって傾向が違う。一人ひとりが安心して自分を表現できるような授業展開や声かけを工夫し、自信をもてるようにしなければならない。

### (2) 教科学習の状況

- 国語科：「書く」問題より、「読む」問題の方の正答率が高い学年が多いので、読みの力を書く場面でも活かし、表現力を高めていきたい。「言葉」に関して市平均を下回っている学年があり、特に漢字やローマ字、辞書の使い方に課題があり、日常的な取り組みの必要性を感じる。
- 算数科：加減乗除の性質を活用して答えを導く過程を説明する問題（「数学的な考え方」）で市平均を上回る学年があった。引き続き大切にし、伸ばしていきたい力である。図形に関する「知識・理解」や、定規やコンパスを正しく用いた作図などの「技能」は、十分に定着しているとはいえない。
- 社会科：工程を示した絵や表・グラフから読み取って答える「技能」が市平均を上回っている学年があった。様々な資料に触れる機会を意識的にもち、更に力がつくようにしたい。基礎的・基本的な「知識・理解」の定着が十分ではない。自分の生活にかかわることで、実感を伴った理解がなされていないといえる。
- 理科：基礎的・基本的な「知識・理解」の定着が十分ではない。実験や観察は経験しているが、それがどのように結果に結びついているのか理解しきれていないといえる。実験や観察に意欲的な児童が多いので、結果を正確に記録したり、考察したりすることの指導を充実させていきたい。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

朝食を確実に食べている児童数は、市平均を大きく上回っている。こういった家庭の協力が、授業に取り組むための心身の準備に大きく貢献しているといえる。

自己肯定感が低く、すすんでコミュニケーションをとることに苦手意識がある児童が多いためか、自分では人の気持ちを考えて行動するようにしていると自信をもって言える児童は少ない。日々の授業で「できた。」「わかった。」「友達に伝えられた。」「友達と協力できたといった。」といった達成感が味わえるような授業を行うことで、自己肯定感や自己有用感を高め、コミュニケーション能力の伸長を図っていく必要がある。

## 4 平成27年度 目標と具体的方策

### 平成27年度 目標

### 誰もが安心して生き生き学ぶための学習指導の充実

#### (1) 学校組織としての共通の取組

- **基礎・基本の定着**
  - ・学習のベースの形成(挨拶、返事、話の聞き方、話し方、家庭学習の進め方等)
  - ・一時間ごとのねらいを明確にして授業に臨むための、具体的評価規準(A・B)の作成
  - ・その時間で押さえるべき指導内容を確実に定着させるための積極的な授業改善
  - ・繰り返し問題に取り組んだり、学習したことを日常的に活用したりする時間の確保  
(「はまっ子学習ドリル」の活用や、辞書の日常的な利用など)
  - ・全校で統一した読書活動への取り組み(読書記録の活用)
- **個に応じた指導の充実**
  - ・子どもたちの「できた」「わかった」という充実感を支えるための学習形態の工夫
  - ・支援を要する児童への理解、授業における指導の研修の実施など、特別支援教育の充実
- **研修・研究体制の構築**
  - ・生活科・総合的な学習の時間の効果的な授業研究(地域の材を生かした単元づくり、計画的な研修)
  - ・メンターチーム構成員の指導力向上のための、積極的な研修(自ら企画・運営)

#### (2) 学年・教科等としての取組

#### ○ 児童一人ひとりが充実感・達成感を味わえる授業づくり

|        |  |
|--------|--|
| 1学年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○スタートカリキュラムを通し、一人ひとりが安心して自分の力を発揮できるようにする。</li> <li>○基礎・基本の確実な定着を図るために、次の時間の最初に復習問題に取り組んだり、定期的ミニテスト等を行ったりする。</li> <li>○人・もの・ことと触れ合える体験的な学習活動を十分に行い、学ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>   |
| 2学年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○国語科・生活科等で、子どもの思いや願いを生かした活動づくりを子どもたちと共に行い、自分の考えを生かしながら主体的に学習に参加できるようにする。</li> <li>○国語科と算数科において、学習した内容が定着しているか確認するためのミニテスト等を行い、子どもたち自身が身に付いてきていると実感できるようにする。</li> <li>○人・もの・ことと関わる体験的な学習を十分に行い、学ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> </ul> |
| 3学年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題をはっきりさせ、1人ひとりが課題にじっくり取り組む時間を確保する。</li> <li>○みんなが自分の考えをもてるように机間指導をして声をかけ、自信がもてるように丸をつけたりほめたりする。</li> <li>○話し合いでは、理由や根拠を説明するように声をかけ、子どもたちが共有しやすいようにわかりやすく板書する。</li> </ul>  |
| 4学年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペア学習、グループ学習を取り入れるなど、課題を自分ごととして捉え、全員が参加できる学習にする。</li> <li>○「わかった。」「できた。」という達成感が味わえるよう、繰り返し問題に取り組ませたり、ミニテストで定着度を確認したりして、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>○資料を整理・活用する力を身につけるため、考えの基となった根拠を説明できるよう、机間指導により考えや言葉を引き出す。</li> </ul>        |
| 5学年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題を把握する時間を確保し、机間指導で声をかけ、一人ひとりが自分の考えをもって学習に参加できるようにする。</li> <li>○短く的確な発問、整理された板書を心がけ、その時間の流れがどの子にも分かるようにする。</li> <li>○授業の振り返りを書かせ、理解度や次回に向けて個々の課題を把握し、次の授業づくりに活かす。</li> </ul>   |
| 6学年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題を把握する時間を充分確保し、一人ひとりが自分の考えをもち、それを友達に伝えられるよう、机間指導により丁寧に声をかける。</li> <li>○的確な発問、整理された板書を心がけ、また、友達と意見の交流の時間を設定するなど、児童が主体的に学習に参加できるようにする。</li> <li>○授業の振り返りや自己評価を書かせ、理解度や次回に向けての個々の課題を把握できるようにし、次の授業に活かす。</li> </ul>         |
| 個別支援学級 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別的教育支援計画・指導計画を作成し、ニーズに応じた適切な課題を設定する。</li> <li>○スモールステップで繰り返し取り組めるようにし、教材・教具や、学習形態を工夫する。</li> <li>○環境を整備し、見通しをもって学習できるようにする。</li> </ul>  |

